

上部消化管内視鏡検査説明・同意書

1. 検査目的

- スクリーニング
- 有症状精査のため
- その他

2. 方法

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)は、食道・胃・十二指腸にできる病気(潰瘍・ポリープ・がん・炎症)などを発見するために行います。内視鏡を口や鼻から挿入し、胃の中に空気を入れて膨らませながら観察します。検査は5~15分程度で終了します。検査の前処置として、のどや鼻に麻酔をしてから検査を行います。歯科治療、局所麻酔でアレルギー症状が出た方は使用できない場合があります。医師の判断で、胃の動きを抑えるための薬を筋肉注射することがありますが、緑内障・前立腺肥大・心臓病のある方には使用できません。また、脳梗塞や心臓病で血液を固まりにくくする薬(ワーファリン・バイアスピリン・プラビックスなど)を内服している場合は医師、または看護師にお申し出ください。観察中、必要に応じて組織の一部を採取し、細胞の検査(生検)を行うことがあります。

3. 合併症

検査は細心の注意を払い慎重に行いますが、内視鏡による危険性として次のようなことが報告されています。

- ① 内視鏡による粘膜傷害や裂傷
- ② 生検による出血
- ③ 局所麻酔によるアレルギーショック
- ④ 治療中の疾患(脳梗塞・心筋梗塞など)の悪化や、肺炎など

上部消化管検査に伴う合併症の発生頻度は全国集計で0.005%(2万件の検査で1件)、死亡例は0.00019%(53万件の検査で1件)と報告されています。偶発性や緊急事態が生じた場合には、最善の処置・対処を致します。入院や緊急の処置、輸血、手術が必要になりことがあります。その際は通常の保険診療となります。

4. 経鼻内視鏡検査について

鼻腔(鼻の通り道)が狭い方は、鼻の麻酔をしても強い痛みが生じたり、内視鏡が入らない場合があります。その場合は口からの内視鏡検査に切り替えます。経鼻内視鏡検査は、口からの内視鏡検査に比べ操作性と画質が若干劣ります。

以上を理解され検査を受ける方は、同意書にご署名の上、医師または看護師にお渡しください。同意が得られない場合検査は行いません。また、本同意は任意意思につき、いつでも取り消し可能です。

上部消化管内視鏡検査同意書

医療法人 AZ グループ 横浜エムエムクリニック院長殿

私は、上部消化管内視鏡検査の目的と方法、危険性について上記の項目を読み、十分に理解し了承しましたので、その実施に同意します。

年 月 日

患者氏名

ID:《患者コード》